



長岡版

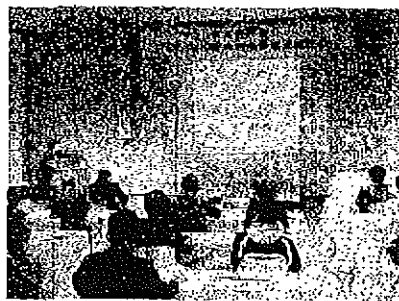
発行編集  
長岡民主商工会  
長岡市中沢167-1  
☎ 33-5948

2023年  
12月25日  
第2177号

インボイス制度は廃止を  
消費税は5%に減税を  
大軍拡・大増税をやめよ  
税務相談停止命令制度は  
廃止を

# 新商連共済会が「いのちと健康を守る学習交流会」を開催 認知症の予防と認知症の人への向き合い方を学ぶ

新商連共済会は12月3日(日)、新潟市で「いのちと健康を守る学習交流会」を開催しました。全体ではおよそ50人が集い、長岡民商からは監物忍共済会理事長(新商連共済会副会長)、酒井光男長岡民商会長、佐藤敏行共済会会計(新商連共済会常任理事)、事務局・金内の4人が参加しました。



会の初めに行われた新潟県福祉保険部高齢福祉保険課・高橋裕子さんによる講演「認知症について ―認知症の予防と認知症の人との向き合い方―」は、とても大きな学びとなりました。内容を要約して紹介します。

少子高齢化が進むいま、認知症高齢者の数も割合も増加しています。2025年(令和7年)、新潟県の認知症高齢者は高齢者人口の20.6パーセント(およそ14万9千人)になると予測されています。つまり、「高齢者の5人に1人が認知症」ということになりました。高橋さんは「認知症は誰でもかかるおそれのある病気。認知症になっても、心は豊かに生きている。他人事ではなく、自分の事としてとらえてほしい」と訴えます。

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなってしまうたりしたために様々な障害が起こり、生活するうえで支障が出ている病気をいいます。早期診断・早期対応が大切であり、薬で症状を遅らせることや進行を防ぐ治療を行うことも、場合によっては可能です。認知症に確実な予防法はありません。しかし、生活習慣の改善により、発症リスクを減らすことは可能です。また、認知症になつてからの進行を緩やかにすることも期待できます。

認知症予防のためにできること

運動、禁煙、食事、高血圧の管理、糖尿病の管理、余暇活動、社会的参加、難聴の治療など

※何事も楽しく行い、刺激ある日常を送る

ことが重要。

認知症の中核症状(必ず見られる症状)には、①記憶障害(経験したこと自体を、例えば、食事したこと自体を忘れる。物忘れの自覚はない)、②見当識障害(時間、場所、人物を認識できない)、③理解・判断力の障害(考えるスピードが遅くなる。少しの変化で混乱する)、④実行機能障害(日常生活に必要な作業ができない。ただし、何もできないわけではない。手助けしてくれる人がいれば、できることはたくさんある)などがあります。

認知症の人との向き合い方・対応のポイント  
驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない

まずは、見守る。余裕を持って対応する。声をかけるときは一人で、後ろから声をかけない。目線を合わせ、優しい口調ではつきりと、話を聴き、ゆっくり対応する。身内が認知症になった場合、家族にはとまどいや否定の気持ちが表れ、やがて混乱や怒り、拒絶につながる可能性があります。高橋さんは割り切りや受容、そして、一人で介護を抱え込まない(地域包括支援センターなどに相談する)ことが重要だと強調しました。

## 年末調整相談会(1月開催分)

長岡民商は左記のように年末調整相談会を行います。民商事務所で行う相談会には、電話等で日時をご予約のうえお越しください。

- ① 民商事務所で行う相談会(予約制)  
新年1月5日(金)・9日(火)  
両日とも10時~12時、13時30分~16時
  - ② 小国支部(片桐三郎支部長宅にて行います)  
新年1月16日(火) 14時~16時30分
- 必要なもの 年末調整書類一式、賃金台帳など

## 年末年始の商工新聞

年末年始の商工新聞について、配達予定は左記の通りとなります。よろしくお願ひします。

- ① 1月1・8日合併号(12月20日(水)より配達)
- ② 1月15日号(新年1月10日(水)より配達)

